

2024年度活動概要

ESP (九州・沖縄) 研究会

本年度は、第7回 JAAL in JACET (日本応用言語学会) 学術交流集会における SIG 研究発表と第32回 ESP 研究会を開催した。

前者は、12月7日(土)に立命館大学衣笠キャンパスで開催された SIG ポスターセッションで「**The Uniqueness of ESP Materials Development and Practical Activities** ユニークな ESP 教材開発と授業実践」というタイトルで、山本佳代(宮崎大学)が「大学農学英语語彙の品詞を考慮した教材作成に関する一考察」、山内ひさ子(元長崎県立大学)が「自作絵本の英日両語による読み聞かせ授業実践」を発表した。

後者は、3月15日(土)に熊本城ホールで開催した。仲山雄二(熊本県立小川工業高等学校)が「工業高校における英語教育の実践と ESP への試み」、縄田義直(航空大学校)が「航空英語試験の現実適用性評価-実音声と再現音声を用いたリスニング能力測定の妥当性と課題-」、荒木瑞夫(近畿大学)が「特化型 AI を用いた英語学習支援の可能性と課題: 資格試験対策の事例から」、山内ひさ子が「小学校低学年向けのバイリンガル絵本の読み聞かせ授業の工夫」を発表した。